

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日  
平成 29 年 4 月 10 日

事務事業名		名勝桜川剣道大会事業				事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	030401000069	
総合計画の施策名		0304 生涯スポーツ活動の振興				単独/補助	単独	所属課	090501	
政策体系	政策名	03 豊かな心と生きがいを育む教育・文化づくり				主要事業	対象外		スポーツ振興課	
	施策名	04 生涯スポーツ活動の振興				市長マニフェスト	対象外			
	基本事業名	01 スポーツをする機会の充実				未来PJ事業	対象外	グループ	スポーツ振興G	
		財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	10	06	01	02	00	単年度繰返し (昭和38年度~)			
法令根拠	保健体育総務事業						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
○教育活動の一環として、青少年の健全育成と、スポーツを通じて友好を深めるとともに武道振興発展に努めることを目的に県内の各単位団、中学校剣道部及び道場に参加を呼び掛け開催されている。	打合せ会議、参加案内の通知、来賓への案内、大会要項作成、賞品の準備等
開催期日 4月29日(金) 場所 岩瀬体育館(ラスカ)	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
大会開催業務	開催回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
・市民(剣道スポーツ少年団、中学校剣道部) ・市外(剣道スポーツ少年団、中学校剣道部、道場)	参加チーム	チーム	69.00	68.00	70.00	70.00	70.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
・体力の向上と技術練磨を身につける。	参加者数	人	450.00	426.00	450.00	450.00	450.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

投入	事業費	財源内訳	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	30年度(目標)	31年度(目標)	期間限定総投入量
量	費	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0
		一般財源	201	188	182	182	182	0
	事業費計(A)	201	188	182	182	182	0	
人件費	量	正規職員従事人数	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	
		述べ業務時間	65.00	87.00	85.00	85.00	85.00	
		人件費計(B)	189	252	247	247	251	
トータルコスト(A)+(B)			390	440	429	429	433	

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)			29年度事業費 予算(千円)		
	08 報償費	11 需用費	合計	08 報償費	11 需用費	合計
	128	60		131	51	
			188			182

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	29年度の事業内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	名勝桜川剣道大会事業	事務事業No.	30401000069	所属課	スポーツ振興課
-------	------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 昭和38年教育活動の一環として、青少年の健全育成と、スポーツを通じて友好を深めるとともに武道振興の発展を目的に旧岩瀬町で開始された。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 普段試合に出られない選手にとって貴重な試合経験の場となっており、大会規模も比較的大きく、今後も継続してほしいという要望が出ている。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容  現状維持

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	大会を開催することにより、少年団・中学生における剣道の普及が図られることは、生涯スポーツ活動の振興、スポーツをする機会の充実に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	少年団・中学生の剣道大会を開催し、スポーツの普及やスポーツをする機会の充実に図ることは、市が行なう事業として妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない	参加チームを増やすことにより、より一層高い技術を持つ少年団、中学校を招くことができ更なる技術の向上、コミュニケーションの輪を広げられ成果を上げられることが考えられるが、大会日程を多くすることは現状では不可能なため向上の余地はない
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	少年団、中学生がスポーツ活動をする場が削減されることは、意図の一つである技術練磨を身につける機会が減り、技術の向上、青少年育成の妨げになる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる	具体的な手段、事務事業名   桜川市まかへ武術道大会 剣道大会は、岩瀬地区・真壁地区で各々に行なわれている。統一の大会で行なうことも考えられる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がある	市主催の事業であるが事務の半分は主管団体が言い、大会運営も主管者が行っているが、主管団体が違うが、同様の大会を2事業行なっているので、統一できれば事業費・人件費において削減できる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	教育活動の一環として行われており、主管団体が参加費を徴収して大会運営費に充当しているため妥当である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 名勝桜川剣道大会は旧岩瀬町で行なわれていた大会であり伝統がある大会であるのは事実である。また、まかへ武術道大会の中の剣道大会も同様であるが、お互いに全体規模は縮小傾向にある。
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 成果 向上 維持 低下
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 名勝桜川剣道大会とまかへ武術道大会の中の剣道大会においては、お互いに伝統がある大会である。合同で大会を開催することができれば経費が削減できる。しかしながら主管団体も岩瀬地区・真壁地区と違う団体が主管しているので、大会を一つにするには、お互いの歩み寄りが必要である。	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑤ コスト削減優先度評価結果 ⑧

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---